

少年の主張吾妻地区大会

8月19日、東吾妻町コンベンションホールにおいて、平成25年度少年の主張吾妻地区大会が開催されました。郡内各中学校の代表が集まり、それぞれが自分の思いを主張しました。本村からは3年生の高橋瑠莉さんが『人間関係』と題して、素晴らしい発表をしてくれました。その作品をここに紹介します。

少年の主張吾妻地区大会優秀作品

人間関係〜中学校生活で見つけたヒント〜

高山中学校 3年 高橋 瑠莉

人と人との関わりは、一生の中で大切なこと。私にこのことを気付かせてくれたのは祖父、そして二年生の時にあった職場体験でした。



私の祖父の兄弟は、たくさんいます。みんながすごく仲が良いのにはびっくりさせられるほどで、祖父は祖母の兄弟に、祖母は祖父の兄弟に、まるで自分の兄弟に接していました。祖父が病気になる入院をしたときも、みんなが頻繁にお見舞いに来てくれて、中には九州に住んでいるにもかかわらず、お見舞いに来てくれた祖母の兄弟もいました。そして祖父が亡くなったときも、まるで自分の兄弟のように涙を流していました。祖父母たちの若い時代は、兄弟や親戚で力を合わせ、苦労も嬉しいことも全て分かち合っ

父の死という大きな悲しみを、温かい人間関係に慰められてるよ

また、昨年の職場体験学習で役場にお世話になりました。村長さんにお話をうかがいました。その時、将来のことから人間関係が話題になり、村長さんは「どんなにその仕事ができても、人間関係が悪くて仕事を辞めてしまうという人がこの世の中にいますから、人間関係はとても大切なことだと思いますよ。」とおっしゃいました。

私たちはこれから、どのような人達と関わることになるのかかわりません。人との関係は、本当にちょっとしたことでも崩れてしまうということがあります。だからといって無理に良くしようとしても、そう簡単にいかないものだと思います。そこで、私の学校生活を見つめ直し、自分たちが実践していることの中に良い人間関係を作る手がかりを探してみることにしました。

私たちの学校では、全校生徒で自力通学とあいさつに取り組んでいます。私はもし一人だったら、雨の日や疲れた時は車で送ってもらい、毎日自力通学を続けてくるのができなかつたと思います。でもいつも一緒に登下校してくれる友達と、頑張っているみんなとの繋がりに支えられて、今日まで続けてこられました。私たちは、友達も頑張っているのだから、自

分も甘えずに頑張ろう、といつの間にかお互いに切磋琢磨しながら、自力登校を続けてきたのだと思います。

登校すれば、あいさつをします。「おはようございます」という短いあいさつを交わすだけでも、お互いに気持ち良くなります。自分が落ち込んでいた日など、声をかけてくれた相手の行動や言葉に、励まされたり感謝の気持ちが湧いてきたりすることもあります。あいさつは、自分の気持ちを「ひとこと」で伝えることができる心のキャッチボールなので、最も簡単にできる人間関係づくりの手段だと思います。

今、若い人達は自己中心的とか、仲の良い友達としか関わらないと言われます。友達関係を保つために、携帯のメールやSNSは欠かせない道具になっていると思います。便利な道具でも、話に興味がなくなったり話が続かなくなったりしたらボタン一つでおしまいできる機能は、もしかしたら人間関係を大切にする感覚を鈍らせた

私たちから奪ったりしているのかもしれない。学校生活を振り返って、自分が置かれているところで人との繋がりをつくっていく大切さを実感しました。相手の目を見る気持ち、相手の心に接する気持ちを忘れずに、広く良い人間関係をつくっていきたいと思います。

8/10~24

地域づくりインターンの会 都会の若者たちが来村

8月10日から24日までの14日間、地域づくりインターンの会の学生5名が来村しました。地域づくりインターンの会とは、都市部の学生と農山村地域の人々を結びつけかけ作りを目的とし、主に首都圏に住む学生が2週間から1カ月程度滞在し、地域の人々とともに地域づくり活動に取り組むプログラムです。高山村での受け入れは、今年で3年目となります。

農作業のお手伝い、粟ぞうりやこんにやく等のものづくり体験、ふるさと祭りのブース担当など、さまざまな活動を行いました。

また村の問題点に過疎化が進んでいることを挙げ、メディアを利用して知名度を上げる、高山村のあたかさを知ってもらう、移住者サポート等住みやすい環境づくりをする等の提言をしてくれました。

9月16日の敬老の日を中心に村内に在住する高齢者の方々に慶祝訪問し敬老祝金が支給されました。

年齢層	原	本宿	新田	五領	判形	役原	関田	戸室	火の口	北之谷	熊野	梅沢	茶ヶ屋	老ホーム	計
90歳以上	7	11	8	6	19	5	7	3	2	1	6	0	1	13	89
85歳から89歳	15	27	23	13	22	9	13	4	8	6	7	5	0	12	164
80歳から84歳	34	31	29	13	37	11	13	13	10	12	11	7	3	13	237
計	56	69	60	32	78	25	33	20	20	19	24	12	4	38	490



9/7

小学校運動会開催

9月7日(土)、雨の心配をしながら小学校運動会が開催されました。

午前中は曇りで、児童も応援のお父さんお母さん、おばあちゃんたちも暑からず寒からず快適なうちに競技が進められました。カメラやビデオを持ちながら、必死に応援する家族に、日頃の頑張りを見せる子供たち、中には「こっこだよ!」とばかりに家族に手を振る児童も見られました。

幼児競走は、来年1年生に上がる幼稚園年長の園児たち、広いグラウンドでお兄ちゃんやお姉ちゃんたちに負けないぞとばかりにスタートを切りゴールを目指して走る姿は、とても頼もしく感じられました。



去る8月21日(水)、村民体育館に於いて第14回高山村老人クラブ連合会輪投げ大会が開催されました。

当日は、16チームが参加し、なかなか輪が入らず難しそうでした。

尚、上位2チームは9月18日(水)に行われる吾妻郡老人クラブ連合会輪投げ大会に参加いたします。

結果につきましては、次のとおりです。

順位	個人賞	準優勝	優勝	成績
1位	松井 一郎	原 C	原 B	32
2位	阿部 信恵	本宿 A	原 C	21
3位	阿部 信恵	原 C	原 B	11

8/21

高山村老人クラブ連合会 輪投げ大会開催



8月25日(日)、役原地区の諏訪神社で祭典が行われました。奉納する獅子舞の舞子6名は中学生に限定されていましたが、今年はずっと1人しか該当者がいなくて高校生に援助を求めている舞子でした。

神社の舞台で勇ましく軽やかに踊る獅子舞を多くのカメラマンがカメラやビデオに収める脇で、地区の長老が「自分たちが子供の頃は、人数が多くて舞子に選ばれてくると家に帰ってからも練習したけど、今年は中学生が1人で、年々舞子が少なくなってきたので人数集め

が大変になってきているんですよ。でも、室町時代から続いていたこの貴重な文化財を絶やすことなく継続して行ってほしいやあね。」と熱い思いを語ってくださいました。競い合いながらも悔しい思いをして舞子になれなかった時代が、今では幸せなことにとどの子も舞台に立つことができそうです。たとえ故郷を離れていても、この時期になると笛や太鼓、さらの音や舞が思い出されることでしょうか。

この貴重な「役原獅子舞」を後世まで伝えていってほしいものです。

午後には、子供たちも集まり、いつものにぎわいを取り戻してきました。

楽しみにしている最後の餅投げは、子供から大人まで、必死に飛んでくるお餅やお菓子を拾いあい、帰る頃にはすっかり雨も上がり無事にお祭りも終了しました。



私にも、ボクにもちょうだい!



餅つきが終わったから、もう少し待っててネという合図かな?

8/25

初秋を告げる役原獅子舞

8/31

ぐんまちゃん家で新鮮野菜販売



8月31日(土)、9月1日(日)の2日間、東京銀座にある群馬県アンテナショップ「ぐんまちゃん家」で県立ぐんま天文台と高山村の観光PRを兼ねて新鮮野菜の販売を行いました。

今年特に甘いトウモロコシや枝豆、きゅうりやなすの漬け物、まだ皮の青いトマトを試食に出すと、野菜の甘さに皆さんびっくり、またスーパーでは買えない安い価格にもびっくりして瞬く間に売り切れてしまいました。

店頭では、暑い中「ひかるくん」「いぶきちゃん」が銀座デビューし、「ぐんまちゃん」と一緒に高山村のPRに愛嬌を振りまいていました。「ぐんまちゃん」登場とともに、交差点の一角が人だかりになり、ぐんまちゃん人気に圧倒されつつ、「ひかるくん」「いぶきちゃん」も便乗し、この時ばかりと名前を売り込み「高山村」の知名度アップに励んできました。

9月19日(木)、食育の日に若い子育て中のお母さんを対象に、秋の行事食「おはぎ」作りが開催されました。

食生活改善推進員の皆さんの自己紹介が終わると緑のふるさと協力隊の林さんを中心にグー、チョッキ、パーのお料理体操が始まり、その後会長さんより「おはぎ」の説明がありました。

「春に食べる牡丹の花に見立てた大きな「ぼたん餅」(ぼた餅)はこしあんで作り、秋にはあんこの粒を「萩の花」に見立て粒あんで小ぶりに作る「お萩」があります。」とそれを聞いて「そうなんだ。」と感心する若いお母さんたち。

料理は、フルーツポンチの材料のキウイやバナナを幼児がフォークで刻むことから始まり、あんこをつぶして餅米を入れラップで丸めたり、餅米をつぶしてあんこを入れ、きなこをまぶしたり。初めての体験で作ったおはぎをみんなで美味しくいただきました。



9/19

「お母さんと一緒に学ぶ食育教室」開催される

9/16

台風直撃の中 尻高神社祭典が行われる

9月16日(月)、台風直撃の中、尻高神社の祭典が行われました。

悪天候のため、太々神楽は西広場屋内ゲートボール場の舞台で行われました。神楽の舞の奉納が始まるとかけ声も飛び交い、それに答えるようなこっけいな仕草に大きな笑い声もあがりました。

秋空に響き渡る太鼓の音も、午前中は豪雨の音で消され、裏の水路からは雨水があふれ出して一面が水浸しになり人が心配されましたが、昼には雨も小降りになって日が差し始めるまでに回復しました。